

ダンススポーツ 「技術認定制度」

グレードコース とはどんなものでしょう

あなたのダンス技術レベルを客観的に評価する制度で、競技ではありません。日本ダンススポーツ連盟が認定します。そのために技術認定会を行います。技術認定に規定するステップを学習し、評価を受けることで、ご自身の上達レベルを知るだけでなく、これからどんなことを習得したらよいかの指標ともなります。

審査は、各個人についての【絶対評価】で、5段階で評価します。競技会のような複数審査で出場者を比較対照して優劣を競うものではありません。スタンダード、ラテンともG1からG6の6段階があり、G6から始めます。

* 審査、評価のポイントは次の内容です

4名の技術認定員が4つの項目を分担して審査します。

1. ポイズとポスチャー
 - ① 背筋の伸び
 - ② 頭の位置と視線
 - ③ ホールドとボディ・ポジション
2. タイミングと音楽
 - ① 踊り出しのタイミング
 - ② ベーシック・タイミング
 - ③ 音楽との一体感
3. フィガー
 - ① アライメント又はダイレクション
 - ② フットワーク
 - ③ 回転量
4. 全体的印象
 - ① フロア・マナーなどの受験態度
 - ② スウェイ、CBM、サイド・リーディング、ボディ・ムーブメント、リードとフォロー
 - ③ 種目の特徴や音楽の理解、感情表現その他の芸術的要素

* 評価は5段階評価で行います

- 5： 際立って大変よく踊れているレベル
4： 8割方問題なく踊れており、明らかに次のステップに進めるレベルである
3： 遙かなく踊れており、次のレベルに挑戦することが相当である
2： 一部に課題があるが、指導者からの再指導により次のレベルに進めるレベル
1： 課題が多く、今は次の段階に挑戦できるレベルではない

* 合否の基準は次によります

- G1～G6は、1つの種目に対して、4つの審査項目について5段階に評価します。
- 20点満点となり、8点以上取れれば合格となります。ただし評価の中に「1」があると不合格となります。

* 合格者には

「日本ダンススポーツ連盟」の認定書が発行されます。

会員登録をし、次回には次のグレードに挑戦できます
飛び級はありません。一段階ごとに進みます。
グレード・コースが終了すると、「普及指導員C級」の実技試験が免除されます。